

答え合わせ・解説

問1	答え 4 証拠	「論より証拠」の続きは「証拠」です。意味は「あれこれ議論するよりも、実際の証拠を示すほうが確実だということ」です。
問2	答え 1 災難に遭ったことを利用して、かえって良い結果を生み出す	「禍を転じて福となす」は「災難に遭ったことを利用して、かえって良い結果を生み出す」という意味です。
問3	答え 1 煙は立たぬ	「火のない所に煙は立たぬ」の続きは「煙は立たぬ」です。意味は「噂が立つにはそれなりの理由があるはずだ」です。
問4	答え 2 大きな組織の末端にいるより、小さな組織の長であるほうが良い	「鶏口となるも牛後となるなかれ」は「大きな組織の末端にいるより、小さな組織の長であるほうが良い」という意味です。
問5	答え 2 餅屋	「餅は餅屋」の続きは「餅屋」です。意味は「何事もその道の専門家に任せるのが一番良いということ」です。
問6	答え 1 幸運は焦らずに待っていればそのうちやってくる	「果報は寝て待て」は「幸運は焦らずに待っていればそのうちやってくる」という意味です。
問7	答え 1 事が起きてから慌てて準備をすること	「泥棒を見て縄を絞う」は「事が起きてから慌てて準備をすること」という意味です。
問8	答え 4 人知れず良い行いをしていれば、いつか必ず良い報いがある	「陰徳あれば陽報あり」は「人知れず良い行いをしていれば、いつか必ず良い報いがある」という意味です。
問9	答え 2 百まで	「三つ子の魂百まで」の続きは「百まで」です。意味は「幼い頃の性格や性質は、年をとっても変わらない」です。
問10	答え 1 教養があり徳の高い人は、自分から危険な場所には近づかないものだ	「君子危うきに近寄らず」は「教養があり徳の高い人は、自分から危険な場所には近づかないものだ」という意味です。
問11	答え 1 縄のごとし	「禍福はあざなえる縄のごとし」の続きは「縄のごとし」です。意味は「幸福と不幸は交互にやってくるもので、予測できない」です。
問12	答え 3 大きいものは小さいものの代わりにもなるので、役に立つ	「大は小を兼ねる」は「大きいものは小さいものの代わりにもなるので、役に立つ」という意味です。
問13	答え 3 冬	「夏炉冬扇」の「冬」の部分が入ります。意味は「時期が合わず、何の役にも立たないもの」です。
問14	答え 4 他人の言動を見て、自分の行いを反省し改めること	「人の振り見て我が振り直せ」は「他人の言動を見て、自分の行いを反省し改めること」という意味です。
問15	答え 4 子に従え	「老いては子に従え」の続きは「子に従え」です。意味は「年をとったら、何事も子供の意見に従うほうが円満にいく」です。
問16	答え 3 黙っていることは、言葉を発することと同じくらい価値がある	「沈黙は金」は「黙っていることは、言葉を発することと同じくらい価値がある」という意味です。
問17	答え 1 自分で努力する人を、天は成功へ導いてくれる	「天は自ら助くる者を助く」は「自分で努力する人を、天は成功へ導いてくれる」という意味です。